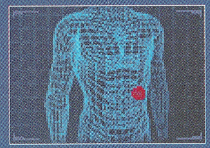
STORY 4-2



手術No18

血清を探せ!

患者 ギルス感染者5名

TIME LIMIT 03:00:00

ギルス「トリーティ」感染者からトリーティの幼体を採取し、抗原サンプル生成に必要となる体液を採取すること。なお、トリーティはH型、P型、V型の3種がおり、感染者5名のなかからその3種を採取するのだが、どの患者がどの型のトリーティを保有しているかは分析するまでわからない。

1 トリーティ幼体に汎用血清を投与

トリーティ幼体は紫、緑、黄色の3色がおり、この色と型の組み合わせはDSの電源を入れるたびに変更される。ただし、動きは色ごとに固定。紫がいちばん動きが遅く、緑、黄色の順にだんだんと動きが速くなっていく。

2 スキャナでトリーティ幼体の影を探す

汎用血清を投与するとギルスは皮下へと潜伏してしまう。幼体は毒素を吐き出しながら移動するので、毒素の跡付近を調べて影を見つけよう。

3 メスで影を切開し トリーティ幼体を露出

4 ヒールゼリーで切開口を治療

トリーティ幼体は露出した直後は赤く点滅しており、この状態のときに汎用血清を打ってもミスとなってしまう。ヒールゼリーで切開口の治療をしておくといい。

5 注射器で汎用血清を投与

露出させたトリーティ幼体に汎用血清を打つと、すぐに皮下に潜伏してしまう。潜伏したら影を探してメスで切開し、汎用血清を投与、と2～5の処置を4回繰り返す。ただし、最後の1種を採取する際は、トドメを汎用血清ではなくヒールゼリーを塗って行なうことになる。

6 ピンセットでトリーティ幼体をトレイに移す

7 メスでトリーティ幼体を切開

8 ドレーンでトリーティ幼体から体液を採取

1～8の処置をしてようやく1体分の抗原サンプルの採取が完了となる。トリーティ幼体保有者は5人いるため、残りの2種分も同様の手順で採取していく。運がよければ3回の手術で済むが、運が悪ければ5人全員の手術を行なうことになる。



1
トリーティ幼体には色がついていない。吐き出す毒素の色で何色かを判断することになる。



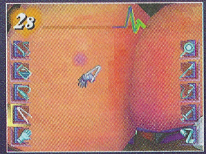
4
露出直後に血清を打ってもMISSとなってしまう。点滅が消えるまでに切開口の処置をしよう。



5a
幼体1体につき4回汎用血清を投与できれば、DEFEATと表示され、駆逐自体は終了だ。



5b
トドメのヒールゼリーは直に幼体に塗るだけでなく、幼体の進路上に塗ることでも効果がある。

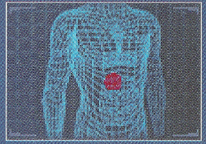


7
駆逐終了後は、ピンセットで幼体をトレイに移し、メスで切開。体液を取れる状態にしよう。



8
切断された幼体にドレーンの吸引口を当て、血だまりを吸引するのと同様に体液を吸引しよう。

STORY 4-4



手術No19

一人前

患者 沓掛真一

TIME LIMIT 05:00:00

新型血清を使用し、トリーティの駆逐を行なう。トリーティはそれぞれ色の異なった3体で活動している。それぞれの色に対応した血清抗体を投与することで死滅させられるが、一定時間内に3体のトリーティすべてに血清を打たなければ効果がない。

1 憩室の色に対応した血清を投与

2 メスで憩室を切開

切開マーカーが消えてしまったら、再度対応した血清を投与すること。

3 ピンセットで憩室を除去

4 ピンセットで人工膜を切除痕に移植

5 ヒールゼリーと手で人工膜を定着させる

1～5までがこの手術の第一段階。このあとトリーティが3体出現するので、バイタルを75まで上げてから最後の人工膜の定着を行なうこと。

6 トリーティの固体色と同じ色の血清を打つ

紫、緑、黄色の3体が一度に出現。固体色がわかる状態で出現するが、色のついた状態のときに血清を打つとミスとなってしまう。どのトリーティが何色だったかを覚えておき、3体が同色になったあとに、固体色と同色の血清を打っていこう。ここで固体色と違う色の血清を打つと、新たな憩室を生成してしまう。憩室の放置や破裂はバイタルの急低下を招くので、トリーティ駆逐よりも優先して憩室の摘出を行なうこと。各個体に4回ずつ血清を打てば6は終了となる。なお、この手順で重要なのは、確実に色を覚えていない場合はトリーティへの対処を行なわないこと。色を覚えられなかったときは、バイタル回復を行ないトリーティへの対処はつぎに回すこと。



1
憩室の場所は固定。色がつきはじめるまえに左下には紫、右下に緑、上に黄色の血清を投与しよう。



4
憩室を摘出したあとは人口膜を切除痕の上にのせ、ヒールゼリーを塗っておこう。定着は後回し。



5
人工膜をひとつだけ残すのがポイント。バイタルを上げ、つぎへの準備が整ったら定着させよう。



6a
トリーティは、写真のように色がついた状態のときに血清を打っても、MISSになってしまう。



6b
3体の色が同色になってからもとの色と同色の血清を打ち、トリーティを弱体化させよう。



6c
もとの色と違う色の血清を打つと憩室が発生。記憶が危ういときは手をださず、回復を行なうこと。